

第3期宮前区区民会議 第7回活力づくり部会

～ 地域特性をコミュニティづくりに活かそう ～

日時：平成23年5月24日(火)15:00～17:00

場所：宮前区役所地域振興課奥会議室

次 第

- 1 前回の振り返り
- 2 坂道マップづくりに向けた検討
- 3 その他

【配布資料】

- 資料1 第6回活力づくり部会 摘録(案)
- 資料2 坂道マップづくりに向けた議論ペーパー

第3期宮前区区民会議 第6回 活力づくり部会 摘録(案)

日 時 平成23年4月25日(月) 15:00~17:00

場 所 宮前区役所4階会議室

参加者 委 員 山下委員長、直本副委員長、恒川副委員長、佐藤部会長、浦野委員、
藤田委員、谷山委員、豊島委員
事務局 有山企画課長、雨宮係長、白石職員
佐谷(コンサルタント)

1 前回のふりかえり

※ 前回の振り返りとして、各委員が資料2の内容を確認。

2 坂道マップづくりに向けた検討

※ 資料3を確認しながら、意見交換(主に新たに追加した意見のみ下記に記載)。

※ 佐藤委員から目黒区「坂道ウォーキングのすすめ」に関する資料(目黒区ヒアリング)の説明。

1 アイディア等の追加

(1) コンセプト

佐藤 今まで5点のコンセプトが出ている。これ以外に付け加えるものはあるか。目黒区は都会。宮前区は自然やのどかさが良い。この辺りを意識したい。目黒区を「坂道ウォーキングのススメ」をもって歩いてみたが、特に重いと感じなかった。手頃な大きさ、薄さも重要ではないか。

藤田 目黒区ではページ数を先に決めている。これこそコンセプト。手ごろな大きさ、薄さでは抽象的。何ページに収めるかを決めてはどうか。

区 ページ数はコース設定を検討する中で検討してはどうか。

藤田 それで良い。

(2) タイトル

佐藤 タイトルは、はじめに決めるとイメージが湧くということもあるし、後から決めてもいい。どなたか考えている方はいらっしゃるか。

直本 「生き活き住民、行く往く坂道」というのはどうか。

佐藤 今すぐ決めなければいけないということではないので、今後検討していきたい。

区 仮称でもいいので、7月の区民会議に出していくことを目標にしてほしい。

藤田 目黒区の「坂道ウォーキングのすすめ」というタイトルは素直だと思う。

山下 メインとサブのタイトルがあってもいい。

直本 みんなで話しているとふっと良い言葉が出てくる。じっくり考えて決めたほうがよい。

(3) 対象とする坂道

区 宮前歴史ガイド(坂道追記)は、かつこがある坂道は愛称、かつこがない坂道はもともと由緒ある坂道の名称となっている。A3版のマップの表記は、赤が坂道の標識があるもの、緑が坂道の標識がないものである。

佐藤 どこまでを対象とするか。宮前区歴史ガイドにある38の坂道とするか、標識があり名前がついている18の坂道にするか、それ以外も入れるか。

山下 38の坂道に引っ張られると、本当にいい坂道が抜けてしまうのではないと思う。ここに出てきていないが、歩道が付いているような坂道もある。

藤田 目黒区の「坂道ウォーキングのススメ」の良い点は、文化財的な位置づけがされている33の坂道を制覇できるということである。その意味では18の愛称がついている坂道に絞るという考え方がある。18の坂道で区全域をカバーしているので、これだけでもだいたい宮前区全域を歩くことができる。

山下 7つぐらいのコースを地域別に設定することも考えられる。

豊島 8つの中学校区ごとにコース設定することも考えられる。

直本 18や38の坂道を基本にして、今後の話し合いで、追加したり、はずしたりしてはどうか。

山下 26番や27番などは、たいした坂道ではないし、はずしてもいい。

佐藤 区全域を網羅でき、名称もあり、宮前区に名前が登録されている18の名称がついている坂道を基本にしていく。その他の38の坂道に上げられるものについても組み合わせられれば入れていく。また、他にもいい坂道があれば加えていく。

(4) コース設定

1) 起点・終点の設定

佐藤 起点や終点はバス停や駅、区役所にするという意見がある。その他にあるか。

藤田 目黒区の場合は駅を起点にしている。宮前区は区内の3駅を起点にしたのでは全てをカバーできない。

直本 駅以外で大きい建物はあるか。あればそれをポイントとして考えてはどうか。

区 蔵敷の交番の前、北部市場などはウォーキングの起点になっている。

藤田 トイレを済ませてから、出発すると考えると、宮前区の場合制約が大きい。

佐藤 起点が商店街となった場合、トイレや集合場所は協力が得られるか。

谷山 商店街を起点とする場合、小さい店が多いのでトイレを貸すことは難しいのではない。各エリアの商店会として協力して、何店舗かトイレや広場を提供するなどしないと非常に難しい。自分の商店街は7割が夜の店なので、昼間は閉まっている。神社仏閣を対象とするウォーキングがあり、トイレなどはお寺のものを借りているのではない。

佐藤 青少年のイベントの時はトイレはどうしているか。

豊島 子どもの集まりの場合は公園を集合場所にしていることが多い。

藤田 スタートとゴールの近くに交通上駅かバス停はないといけない。子ども文化センターや老人いこいの家はトイレがあり、いずれも中学校区に1箇所はある。ただし、交通の便がよいところ、悪いところがある。

第3期宮前区区民会議 第6回 活力づくり部会 摘録(案)

浦野 コース設定をする場合、拠点から決めて設定するか、坂道を歩いて決めていくかがあると思う。

直本 遠方から来る人のことを想定すると、バス停で用を済ませて、歩いていくと思うが、区民を想定すると、そこまで考えなくてもよいと思う。まずは坂道を決めて、その後、起点探しをやってはどうか。起点についても、どこが起点として使えるのかを挙げて、整理したほうがよい。

豊島 コース距離は3.0～7.0kmぐらいか。目黒区は6.5kmが最長になっている。

佐藤 まずはコースを探しながら起点となる場所を探していく。

藤田 あまり校区を考えなくてもいいと思う。スタートとして使えるのは駅と区役所、子ども文化センターくらいかなと思う。理想的には5コースぐらいがいいのではないかな。

2) コーステーマの設定

佐藤 コーステーマとして10案ぐらいでているがどうか。

藤田 全部のコースを回ると18の坂道を制覇できるということを前提条件として、そのコースを歩いてみて、どういうテーマがつけられるかだと思う。景色の良いコースなどを最初からつukれない。

区 安全で、気持ちの良い、楽しいコースをマップでつくり、実際に歩いてみてコンセプトや出ているテーマに当てはめていけ良いのではないかな。

コンサル 1つの坂道が複数のコースに出てくるというのはいいのか。

直本 それはまだ考えていない。

藤田 18の坂道を回ればいいのかではないかな。目黒区「坂道ウォーキング」の夜景コースは坂道の重複があるかもしれない。

佐藤 坂道と合わせて掲載する情報は、これから議論しながら出てくると思うので、これを頭に置きながら、今後検討すればよい。

直本 坂道と合わせて掲載する情報の自然資源のところに樹木や花や野菜も入れてはどうか。

藤田 まず、自分の住んでいるところと18の坂道の位置関係を確認してはどうか。(各委員の居住地を確認)。18の坂道をまとまりごとにわけると、5つぐらいのコースに分かれるか。

山下 菅生、犬蔵などは坂道があまりみられない。

直本 坂道があまりないところをどうするかというところは今後の検討課題として、今分けた坂道のグループごとに歩いてみてはどうか。坂道周辺に何があるか、坂道のきつさを調べてはどうか。

豊島 寺社仏閣だと階段がある。階段も坂道と考えるか。

直本 階段は外してはどうか。

佐藤 目黒区のコースの中にも階段がみられた。ルートの中にあるのであれば、わざわざ階段を外さなくてもよい。

恒川 18の坂道である程度、網羅していると思う。その他に東高根森林公園や菅生緑地もルートに入っているといい。

3) 高低差や斜度などの坂道データの取得方法について

山下 坂道の高低差や距離は例えば国土地理院の地図などで測ればよいとおもう。

直本 宮前区の坂道の高低差が分かる資料があると聞いたが、ないのか。

区 等高線レベルで2m間隔などで分かるものがあるが。正確な数字は分からない。

直本 坂道の歩数は距離から換算すればよいか。斜度が分かる資料はあるか。

区 古い資料があれば、分かると思う。

直本 坂道のきつさは体感になるのか。

コンサル 下水道の地図が高低差などが一番わかる資料だと思うが、ある程度のものであれば、等高線や基準点などで高さが分かる。あとは長さも図れるので、斜度はわかると思う。正確なものになると、測量図を見ないといけない。どこまで正確にするか。坂道の厳しいというのは「角度」か「長さ」か？ 角度がなくても長ければきついつと感じる。

直本 歩いてみないと分からないか。

浦野 それこそ体感でないと分からない。

藤田 坂道はそもそも直線じゃない。目黒区が一番高いところと低いところの高さを測って数値を出しているだけである。

2) 現地調査について

(1) 担当するコースについて

※担当するコースは下記のとおりとする。それに付け加えるものがあれば適宜加える。

コース名(18の坂道のうちの該当箇所)	担当者
Aコース(1~3)	佐藤、直本
Bコース(4, 5, 9)	恒川、豊島
Cコース(6, 7, 8, 14, 16, 17)	直本、手塚
Dコース(13, 15, 18)	藤田、山下
Eコース(10, 11, 12)	浦野、谷山

(2) チェックポイントについて

佐藤 各コースを歩いてもらって、意見を出してもらってはどうか。その時に樹木や神社、商店街、トイレ、バス停、公園、標識や曲がり角を意識しながら歩いてもらう。スタート地点の候補があるなら考えてもらう。さらに、疲労度や時間がどれぐらいかかったか、コースの特徴も考えてもらいたい。写真も撮れればとってもらう。事務局に宿題のチェックポイントをつくってもらう。

区 連休前にチェックポイントを整理してFAXかメールで送付する。また、コースのPRポイントを考えてもらう。

第3期宮前区区民会議 第6回 活力づくり部会 摘録（案）

3 その他

1) 委員の変更

※ 区より前任の田辺委員に代わって大村委員になったことを報告。

2) 今後のスケジュール等

※ 次回部会の日程は5月24日（火）15：00～17：00とする。

※ 各委員は次回部会に向けた宿題は5月13日（金）までに提出する。宿題シートとコースの地図をファックスで送付する。

※ 全体会の日程は来月調整する。

坂道マップづくりに向けた議論ペーパー

資料 2

●は、これからの議論のポイント

項目		主な意見とこれからのポイント
①コンセプト 【優先度 A】		- 坂道というマイナスをプラスに - 高齢者が元気で暮らせるまち - 坂や自然、のどかさ - 手ごろな大きさ、薄さ - 坂道を歩いてもらうきっかけづくり、健康づくり ●マップの使い方（日常的に、休日の時間のあるときに…）
	タイトル 【優先度 A】	- 人の目を引く、コンセプトを明確に - メインタイトルとサブタイトル ●「生き生き住民、行く住く坂道」など、仮称でも…
②対象とする坂道 【優先度 A】		- 標識があり、名前がついている 18 の坂道 - 他の良い坂があれば追加する ●坂を組み合わせて、現在の 5 エリアからのアレンジ
③コース 【優先度 A】	スタート ゴール	- 交通の便の良いところ（バス停、鉄道駅） - トイレがある所（公園、区役所、こども文化センター、いこいの家等）
	コースの テーマ	（ アイデアとしては、景色の良いコース、子どもと外出コース、夜景コース、四季を感じるコース、女性向けコース、高齢者向けのコース、歴史コースなど ） ●実際に歩いてコースごとにテーマを設定
	掲載情報	【自然資源】公園、河川、梅、桜 【歴史資源】寺社、地蔵 【生活資源】商店街、昔からある・特色ある店舗、橋 【休憩施設】ベンチ、トイレ 【その他】バス停（ウォーキング途中で帰ることができる）、曲がり角の目印（どこで曲がればよいかの目印）、坂道周辺のイベントなどの情報、団地 ●「手ごろな大きさ、薄さ」とのバランス
	その他	距離の短いコースがあるとよい ●マップの使い方（日常的に、休日の時間があるときに…）
④健康づくり 【優先度 B】		- 膝の曲げ具合や呼吸の方法などの坂道の歩き方 - 消費カロリー（算出方法の記載） - 詳細な坂道情報の掲載（歩数データ、坂道の長さ、高低差） - 筋力がつくイメージを伝える内容

項目	これまでの主な意見
⑤制作の手順 【優先度 A】	- 地図上でコースづくり - 実際に歩く。部会で 5 班に分かれ区内の坂巡り - 健康運動普及員、ウォーキングクラブ、体育指導員、町会などと連携 ●原稿を作成し、編集していく体制
⑥PR、イベント 【優先度 B】	- 坂道の標識を携帯電話等で写真を撮る - クイズでホームページなどのある坂の写真と同じ写真を撮る - スタンプラリー（ポイントに人がずっといられない） - 著名人（フロンターレの選手等）による紹介、おまけ DVD - マップに掲載する坂道写真の募集（作成段階から PR） - マップのガイド役に「ふろん太くん」 - クチコミで広げる - さまざまな機会・場所で配布（健康講座、健康診断、赤ちゃん検診、スポーツクラブ、公園体操、ペットショップなど） - 宮前ぼーたろうなどで特設サイトを設置し、歩いた人の感想などを書き込めるようにする - スポンサーをつける - 坂の特徴を活かした名前・愛称をつける ●イベント ⇒ 担い手やマップの活用を想定 ●PR ⇒ 誰に、どんなメッセージを、どう伝えるか
⑦ビジュアル 【優先度 B】	- 写真が重要。まちづくり協議会が募集する写真の使用 - 素敵だと思わせるような書き方 - あまり文字を多くしない - 坂道の立体的データやマップの表示
⑧デザイン 【優先度 B】	カッチャン（カッパーク鷺沼イメージキャラクター）や三つ葉マークなど、ポップな感じ
⑨その他	- 目黒区マップと同じような構成にする（1 コース 4 ページの構成） - フロントタウンと協力（血圧測定、ウォーキングのための更衣室の利用） - 坂道の近くの住人から坂道ガイドボランティアを募集 - 地参知笑部会との連携 - ワンポイントアドバイス、クイズ、お知らせなどを入れる